



# 進路だより

揖斐特別支援学校

キャリア支援部 第10号



～ 未来へはばたくみなさんへ ～

令和6年度 3月発行

今年度の進路だよりも**最終号**となりました。最終号は、2月に大垣のソフトピアジャパンで開催された西濃圏域自立支援協議会就労・雇用支援部会の「障がい者就労支援セミナー」で話題となった内容について少し紹介をしたいと思います。この部会は、障がい者雇用の推進に努める支援機関と障がい者雇用を実践している事業所の方が、「**誰もがやりがいと誇りを持って働くために**」できることを一緒に考える場でした。

まず、令和6年9月に厚労省から発表された2023年人口動態統計（確定数）から

2023年に生まれた子どもの数	727,288人	統計史上最少
2023年に亡くなった人の数	1,576,016人	統計史上最多

※差し引きすると、**-848,728人**になります。

- ◆より具体的に表現すると、佐賀県の人口が約81万人です。**2023年の1年間で、佐賀県の人**が**全員いなくなったことと同じ**です。驚くことに、今後人口が同じように減少すると言われています。もちろん、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）も減少しています。



- 労働力人口が減少する状況から、**障がいのある人だけでなく、シニアの方、外国にルーツのある方、難病の方**等が活躍できる社会（安心して働き・暮らせる仕組み）が不可欠です。

## ダイバーシティ経営

「多様性」を指す英語。性別や国籍、年齢などを問わずに、**多様な人材を活用**することで生産性を上げ、**企業の成長と個人の幸せを同時に目指す**概念。

よく目にしたり聞いたりして知っている人も多いと思いますが、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs」には、国連加盟193か国が2016年から2030年までの15年間で達成するために掲げた目標（17のゴール・169のターゲット）があります。

その中の<目標8の5>を紹介します。

2030年までに、若い人たちや障がいがある人たち、男性も女性も、**働きがいのある人間らしい仕事**をできるようにする。そして、同じ仕事に対して、同じだけの給料が支払われるようにする。

「**働きがいのある人間らしい仕事**」⇒**ディーセント・ワーク**とは？

～全ての人が収入を得るのに十分な仕事があることが基本～

★その仕事は、権利・社会保障・社会対話が確保されていて、自由と平等が保障され、働く人々の生活が安定する⇒**人間としての尊厳を保てる生産的な仕事**のことをいう。

※障がい者雇用も、ディーセント・ワークの観点から**雇用の質**が重要になる！

[裏面へ→](#)

8 働きがいも  
経済成長も



▼障がい者雇用の現状を見ると・・・以前より改善されてきているが・・・

「雇用の質」と対極にあるのが、

- ・法定雇用率（2.5%）達成のためだけの雇用
- ・地域経済の外にある仕事
- ・法定雇用率を達成するための代行ビジネス
- ・あまりにも低い単価の仕事

このような事業所が  
あることも事実です！！

※安心して働ける会社とは・・・？

**確**かに給料や待遇も大切な要素ではあるが、一人ひとりを認め合える会社。すなわち、お互いを認め合う社風がある会社ではないでしょうか！

最後に・・・共生社会について！

「他人に迷惑を掛けちゃだめよ」日本ではよく聞かれる言葉だと思います。きちんと礼儀をわきまえ、規律正しい社会生活が実現できているのも、小さい頃からこのようなしつけを受けているからかもしれません。ただ時に、過剰に周囲の人にそのような態度や礼儀を求め、少しのプレに対しても許さないという気持ちになり、注意を越えて攻撃的になってしまう人も少なからずいるのではないのでしょうか？それに対し、インドでは、「あなたは人に迷惑を掛けて生きているのだから、人のことも許してあげなさい」と子どもに教えるそうです。人は誰も迷惑を掛けながらでしか生きられないものです。人は失敗するものだから、許す心を持ちましょう。このように考えると、周りの人に対する考え方が変わるような気がしますね！

下の写真は、滋賀県大津市坂本の「穴太（あのを）の石積み」 画像提供：坂本観光協会

～プラタモリでも以前紹介されました～



かつて比叡山麓の穴太と呼ばれる地域に「穴太衆」と呼ばれ、活躍していた石垣職人の集団がいました。彼らは、自然石を加工せずそのまま積み上げる「野面（のづら）積み」という技法で石垣を作り、この穴太衆が手掛けた石垣を「穴太積み」と呼びます。穴太積みはとても頑丈であり、1571年に起こった比叡山焼き討ちでも穴太積みの石垣だけは全く崩れず、織田信長もその強固さに驚いたと言われています。

小さい石、不格好な石、どれも捨てず、削らず。どの石にも必ず役割がある。

どの石が欠けても強固な石垣は成り立たない！

補い合う、支え合う、共に生きる社会を実現していきましょう！！